

- 1 給食に苦手なピーマンが出た。ぼくは、どうやって残そうかと皿をにらんでいた。となりのはるとが「それ、もらっていい？大好きなんだ」と言うので、皿ごとわたした。ところが、はるとがおいしそうに食べるのを見ているうちに、ぼくは「やっぱり、一つだけ返して」と言っていた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

ぼくの 気持ちは、どう 変わりましたか。

- ① ゆううつ → 興味
- ② 期待 → 安心
- ③ ゆううつ → 安心
- ④ 期待 → 興味

こたえ

- 2 母の誕生日に、こっそりケーキを焼こうと小麦粉をはかっていたら、母が台所に入ってきた。母は目を丸くしてから、「あら、何も見なかったことにするね」と言って、そっと戸を閉めた。ぼくはふき出してしまい、粉だらけの手のまま、閉まった戸に小さく頭を下げた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あせりと感謝
- ② あせりとがっかり
- ③ おかしさと感謝
- ④ おかしさとがっかり

こたえ

- 3 楽しみにしていた遠足が、雨で中止になった。教室じゅうが「えー」と言い、ぼくもみんなと同じように「えー」と言った。けれど本当は、半分しかかいていない班の地図を思い出し、こっそり胸をなでおろしていた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 思わず声が出たが、本心ではほっとしている
- ② 声はみんなに合わせたが、本心ではほっとしている
- ③ 思わず声が出るほど、本心でもがっかりしている
- ④ 声はみんなに合わせたが、本心でもがっかりしている

こたえ

1 こたえ：① ゆううつ → 興味

★線をひくところ（赤いことば）

給食に苦手なピーマンが出た。ぼくは、どうやって残そうかと皿をにらんでいた。となりのはるとが「それ、もらっていい？大好きなんだ」と言うので、皿ごとわたした。ところが、はるとがおいしそうに食べるのを見ているうちに、ぼくは「やっぱり、一つだけ返して」と言っていた。

手がかり：はじめは『どうやって残そうか』と皿をにらむ＝期待ではなく、ゆううつ／わたして終わりではなく『一つだけ返して』＝安心ではなく、食べてみたくなった興味。

2 こたえ：③ おかしさ と 感謝

★線をひくところ（赤いことば）

母の誕生日に、こっそりケーキを焼こうと小麦粉をはかっていたら、母が台所に入ってきた。母は目を丸くしてから、「あら、何も見なかったことにするね」と言って、そっと戸を閉めた。ぼくはふき出してしまう、粉だらけの手のまま、閉まった戸に小さく頭を下げた。

手がかり：見つかったのに『ふき出して』しまう＝あせりではなく、母のとぼけ方へのおかしさ／閉まった戸に頭を下げる＝計画がばれたがっかりではなく、知らないふりをしてくれた母への感謝。

3 こたえ：② 声は みんなに 合わせたが、本心では ほっと している

★線をひくところ（赤いことば）

楽しみにしていた遠足が、雨で中止になった。教室じゅうが「えー」と言い、ぼくもみんなと同じように「えー」と言った。けれど本当は、半分しかかいていない班の地図を思い出し、こっそり胸をなでおろしていた。

手がかり：『みんなと同じように』言った＝思わず出た声ではなく、まわりに合わせた声／『本当は』『胸をなでおろしていた』＝がっかりではなく、地図をかく時間ができてほっとしている。